

飛鳥クルーズは、おかげさまで今秋、就航20周年を迎えます。

これを記念し、飛鳥クルーズを愛してくださる皆様への感謝を込めまして、
記念晩餐会にご招待させていただきたいと存じます。

ノーベル賞受賞者の記念晩餐会が開かれるストックホルム市庁舎の「青の間」で、
2010年の受賞者が味わったノーベルディナーメニューと、
その荘厳な雰囲気、皆様にもお楽しみいただければ幸いです。

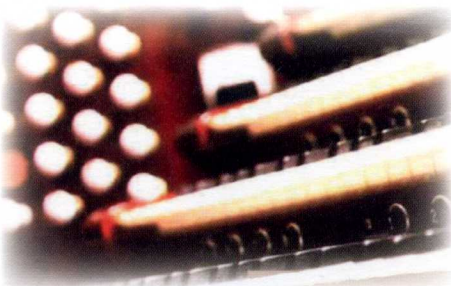
飛鳥IIの、お客様の思い出と夢を乗せた美しい地球逍遥の旅は、まだまだ続きます。
これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

郵船クルーズ株式会社



飛鳥クルーズ就航20周年記念晩餐会

会 場 ストックホルム市庁舎「青の間」
日 時 2011年5月21日(土)



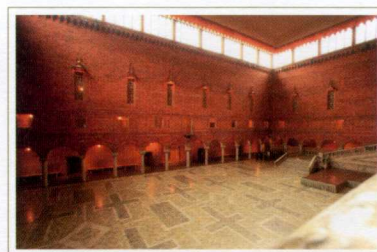
式 次 第

- ◆ 開宴ファンファーレ
- ◆ パイプオルガン演奏
- ◆ 挨拶 郵船クルーズ 社長
- ◆ 来賓挨拶 在スウェーデン 日本国大使
- ◆ 乾 杯 飛鳥II船長
- ◆ 晩 餐
- ◆ ストックホルム合唱団によるコーラス
- ◆ 飛鳥クルーズ・パイオニアクルー表彰
- ◆ 挨拶 飛鳥II船長



ストックホルム市庁舎

毎年、ノーベル賞の授賞式、晩餐会がこの市庁舎内で行われます。リッダー湾を望むナショナル・ロマン様式の建造物で、三つの金色の王冠を戴く塔からは街を一望でき、ランドマークになっています。受賞者の祝賀晩餐会は、「青の間」と呼ばれる大広間で催されます。王室をはじめ要人を招いての舞踏会、パーティーなどが行われる「黄金の間」には、1900万個の金箔モザイクガラスが施され、そのきらびやかさに目を奪われます。



青の間

ノーベル賞の祝賀晩餐会には受賞者をはじめ、スウェーデン王室、世界各国の要人らも顔をそろえます。普段は、観光客にも一般公開しています。レンガ造りの大広間は「青の間」というより「赤の間」といった印象です。当初は青を基調に装飾する計画でしたが、赤レンガ造りの大広間があまりに見事に仕上がったため、そのまま完成させたという逸話があります。晩餐会には巨大なパイプオルガンが演奏され、「青の間」は絢爛豪華な雰囲気に包まれます。